

宮城県考古学会連絡紙

第81号

2021年4月17日発行

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1

東北大学大学院文学研究科考古学研究室 宮城県考古学会事務局

2021年度 宮城県考古学会総会・研究発表会

2021年度総会・研究発表会については、新型コロナウイルス感染症対策を十分に実施した上で会場とオンライン配信により下記の日程・内容にて開催いたします。

参加を希望される方は、同封の「2021年度宮城県考古学会総会・研究発表会参加に関するお知らせ」を参照の上、葉書あるいはメールにて、参加についてご連絡いただくようお願いいたします。締切が早く大変申し訳ございませんが、大型連休を挟むことと、準備の都合上、4月27日までに葉書の投函あるいはメール送信いただければと思います。

日時: 2021年5月15日(土) 10:30~15:10

会場: 白石市中央公民館ホール

主催: 宮城県考古学会

共催: 白石市教育委員会、宮城県教育委員会

参加費・資料代: 無料

日 程

【総 会】

10:00~ 受付

10:30~11:40 総会

《議案》

- (1) 議案第1号 2020年度事業報告について
- (2) 議案第2号 2020年度収支決算報告(案)
- (3) 議案第3号 2021年度事業計画(案)について
- (4) 議案第4号 2021年度収支予算(案)
- (5) 議案第5号 「大地からの伝言」等活用研究会の特別委員会への改組について
- (6) その他

※議案の承認については、後日書面により議決します。

【研究発表会】(発表 25分・質疑 5分)

13:00~13:30 熊谷亮介・鈴木秋平

「加美町葉菜山麓における石刃・剥片分割行動の一考察」

13:30~14:00 及川謙作

「陸奥国府における造瓦技術の受容と変遷」

14:00~14:30 小原駿平

「古代後半期における土師器塚-多賀城周辺の事例から」

14:30~15:00 山川純一

「岩手県、宮城県の古代竪穴建物跡の外延溝」

15:00~15:10 閉会行事

【懇親・交流会】

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今回は中止いたします。

【連絡先】

宮城県考古学会 開催事務局(担当:安達訓仁)

FAX 022-217-5103 E-mail miyagikouko1998@gmail.com

博物館等イベント情報

会期等については4月10日現在の情報となっています。今後の状況によって変更される可能性がありますので、ご注意ください。なお、仙台市・名取市の展示施設については、5月5日(水)まで臨時休館となっております。

【東北歴史博物館】

●テーマ展示「多賀城の高級食器-緑釉・灰釉・青磁・白磁-」

[会 期] ~7月4日(日)

●テーマ展示「宮城県の土師器-土器から見る生活の変化-」

[会 期] 7月6日(火)~12月5日(日)

●イベント「春のわくわく体験見本市2021」

5月15日(土) 9:30~16:00

ミニ土偶づくり、勾玉づくり、砂金すくい、弓矢体験などのプログラムを準備しております。参加には事前予約が必要。

●館長講座

阿子島香館長が、「東北グローバル考古学-宮城の先史を再発見-」をテーマに、令和3年度の館長講座を行います。ふるさと東北の遺跡を取り上げながら、世界各地のさまざまな文化と比較し、人類史の中での意義を探っていきます。

第1回 4月24日(土) 「比較考古学の地平」

第2回 5月22日(土) 「ハンドアックスの東と西」

第3回 6月26日(土) 「ホモ・サピエンス 東北へ」

第4回 7月24日(土) 「氷河時代のハンターたち」

第5回 8月28日(土) 「美術と思想の起源」

第6回 9月25日(土) 「石器製作のハイテク」

第7回 10月23日(土) 「地球温暖化の中で」

第8回 11月27日(土) 「縄文への道」

開催日: 4月24日~11月27日(各月の第4土曜日)

時 間: 13:30~15:00

場 所: 東北歴史博物館 3F 講堂

定 員: 各回 145名(事前申込み制、先着順)

費 用: 無料

【奥松島縄文村歴史資料館】

●企画展「貝塚の壁-海と沼の貝塚-」

〔会期〕 ～6月20日(日)

●GW 企画「縄文体験・体感 WEEK！」

5月1日(土)～5月5日(水) 9:30～15:00(有料)

「縄文」を楽しむスペシャルウィーク。日替わり体験のほか、里浜貝塚ガイドツアーを開催。

活 動 報 告

【旧石器部会】

2020年10月17日(土)に第39回例会を開催しました。今回は、東北大学考古学研究室のご協力をいただき、オンライン上で研究発表会を行いました。これまで当部会が『宮城考古学』に報告してきた葉山No.8遺跡・No.34遺跡それぞれに関する研究、および国内最大の尖頭器に関する研究の3本が発表されました。参加者は14名。

青木・佐々木発表(No.34遺跡)では黒曜石産地分析と細石刃製作技術の分析結果が報告され、熊谷・鈴木発表(No.8遺跡)では回帰的に利用される遺跡において石刃・剥片が分割されることの意味の考察が提示されました。鹿又発表(尖頭器)では、国内の大形尖頭器の集成を通して、その象徴的意味や出現のメカニズムに関わる問題が提示されました。

それぞれの発表に対して参加者から活発に質問やコメントが発せられ、おおいに議論を深めることができました。今後も研究発表会・整理活動等とおして、地域研究を継続していきたいと考えています。

【縄文部会】

2020(令和2)年12月20日(日)に、蔵王町を会場とし、第29回縄文部会を開催しました。参加者は8名でした。今回は、蔵王町湯坂山B遺跡を中心とした資料について実見しながら検討いたしました。また、縄文時代の遺跡集成に関する件や、次回に関する件等について打ち合わせを実施しました。次回の開催日時や場所は未定ですが、決まり次第またご案内致します。

【古墳・古代部会】・【中近世部会】

令和3年1月24日に「古墳・古代研究部会」および「中近世部会」をオンラインで実施いたしました。述べ20名の参加があり、詳細は以下の通り。

開会挨拶 古川 中近世部会長 開催趣旨として、オンライン開催になった経緯について説明した。

①及川 謙作 「陸奥国府における造瓦技術の受容と変遷(1) 一郡山遺跡の瓦を中心に」

郡山遺跡の概要と研究史の整理をした後、近年の調査事例を追加して瓦の系譜について再検討したものの、質疑応答では渡邊泰伸氏から瓦生産の技術は地域で受け継がれていくものではなく、必要な時に必要な工人を集めて行うものだったのだろう、という指摘がなされた。

②館内魁生「形と色からみる宮城県域の12世紀の京都系土器」

京都系土師器の研究史をその編年論から分布論、使用法と丁寧整理し、その導入の様相について、情報のみの伝達か、

在地の職人が伝習を受けたものかという議論に答えるというものの、京・宮城県内・北東北を分析対象とし、幾何学的測定学の手法と利用したかたちの分析と、色の分析を通じて得られた結果が提示された。古川一明氏と及川謙作氏から色の分析に関する質疑がなされた。

③及川 謙作 「仙台市善道寺北側から発見された近世墓」

平成30年に緊急調査された近世墓について報告された。限られた時間の中で計測されデータから構築された3Dモデルも示され、立地や絵図資料から伊達綱宗の生母を埋葬した石室の可能性が示唆されている。森田義史氏から周知の埋蔵文化財に登録されていない近世墓の把握と調査に関する方向性について質問がなされた。

最後に総括として辻秀人氏より①と②の双方に共通することとして瓦も土器も本質は「形と大きさ」にあり、技法はそれを実現するための方法であることを意識する必要があることが示された。またオンラインでの研究会という方法についても遠隔地からの参加がしやすいという点など、コロナ禍中にあるにはこのような取り組みを続けていくことが重要だと評価された。

会誌24号投稿案内・原稿募集中です！

会誌『宮城考古学』第24号(2022年5月発行予定)への投稿を募集しています。原稿締切りは2022年1月31日です。投稿希望の方は2021年11月30日までに、予定頁数や概要などを下記アドレスまでお知らせください。

〈書式〉①A4判横組。版面縦233mm×横166mm。単色刷り。②本文は10.5ポイント・明朝体で横書き・45字×35行。

〈原稿の種類〉①論文(18頁以内)②研究ノート(12頁以内)③展望(12頁以内)④資料紹介(8頁以内)ほか

〈連絡先〉初鹿野 博之(会誌幹事会代表)

E-mail: miyagikoukougaku@gmail.com

会費の納入をお願いいたします

会費は一般会員が4,000円、学生会員が1,000円、夫婦会員が5,000円です。未納の方は、お早めにお支払い下さい。

文化財担当職員・学芸員の採用情報を募集しております

宮城県内の文化財担当職員や学芸員の採用情報を募集しております。提供していただいた情報は、当会Webサイトにて公開いたしますので、よろしく願いいたします。

〈連絡先〉鈴木 啓司(連絡紙代表幹事)

E-mail: info@m-kouko.net(宮城県考古学会)

情報・寄稿などをお寄せ下さい！！

考古学に関する情報や寄稿、会員通信等をお寄せ下さい。また、連絡紙の愛称や内容、取り上げて欲しいこと、提言などご意見ご要望もお待ちしております。

本会Webサイト(<http://www.m-kouko.net/>)では、本会連絡紙のほか、お寄せいただいた情報を随時掲載いたしております。発掘調査情報、学会、イベントなど考古学に関する情報をお寄せください。

〈連絡先〉鈴木 啓司(連絡紙代表幹事)

E-mail: info@m-kouko.net(宮城県考古学会)